

# 津波災害編

## ▶ 津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。  <b>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</b>
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。

- ・震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- ・津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。

## ▶ 津波災害の心得

小さな揺れだったり揺れを感じたりしなくても、大きな津波に襲われることがあります。津波警報・注意報が発令されたら速やかに避難し、解除されるまでは海岸に近づかないでください。

### 津波の危険とは？

#### ● 海岸近くで地震を感じたら直ちに避難！

強い地震（震度4程度以上）や、長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

#### ● 揺れが小さくても油断しない！

感じた揺れ（震度）と地震の規模（マグニチュード）は別です。小さな揺れでも大きな津波になることもあるので、決して油断してはいけません。

#### ● 津波は繰り返し襲ってきます！

第1波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。荷物をとりに戻ったり、様子を見るために海岸へ近づいてはいけません。

#### ● 深さ15cmでも危険！

津波は勢いのある水が押し寄せてくるため、深さ15cmでも足元をすくわれてしまう可能性があります。

#### ● 津波警報・注意報が解除されるまでは海岸に近づかない！

津波警報・注意報が発表されたら、海水浴や磯釣りは中止して、すぐに避難してください。津波は短時間で襲ってくる場合もあります。